

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	道路維持補修事業						
総合計画 重点施策	快適な生活を支える都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	管理課

事業目的・概要
【事業目的】 市道及び道路附属施設等の維持、補修により、道路利用者の安全と地域住民にとって快適で安心なまちづくりの推進を図る。
【事業概要】 市道の舗装、側溝、安全施設、区画線等の補修など生活道路の改善を行っていく。 定期的に月2回、3班に分けて道路パトロールを実施するとともに、庁内イントラを利用し、毎月1日に道路異状箇所の報告を促すなど、市職員の生活道路に対する意識を高め、適切な維持管理を行う。

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
補修処理率	%	96	96.5	96.5	96.5
パトロール実施回数(月2回)	回	24	24	24	24

事業スケジュール(当初)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
道路長寿命化事業			起工・契約					施工					
米ノ井地区排水対策事業			起工・契約					施工					
橋りょう長寿命化事業						起工・契約		施工					
横断歩道橋長寿命化事業				起工・契約				施工					
進捗状況	通年による維持補修 補修実施箇所(令和7年3月末) 道路パトロールの実施 24回 確認件数: 739件 処理件数: 713件 取手市内を5地区に分け、3班に分かれて実施。 計画的維持管理 道路長寿命化対策工事 米ノ井地区排水対策工事 (令和7年3月完成) (令和7年3月完成) 橋りょう長寿命化事業(橋りょう補修設計業務委託) (令和7年3月完成) 横断歩道橋長寿命化事業(取手駅西口デッキ補修工事) (令和6年8月完成)										進捗度	A (予定どおり進んでいる)	

今後の方向性
継続 ・今後も補修要望については迅速に対応していく。 ・日常のパトロールに加え、月2回の定期道路パトロールを実施して監視体制の強化を図る。 ・市職員へ通勤時及び公務中における街路樹や道路陥没等の情報提供について、周知徹底を図り、事故を未然に防ぐ。

事業費(単位:千円)	R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金	39,920	40,067	111,988
	県支出金			
	地方債	62,100	97,700	136,300
	その他	24,654	14,052	1,882
	一般財源	263,312	289,120	77,546
事業費計(A)		389,986	440,940	327,716
人件費	正規職員数	5	7	7
	業務時間	9,600	13,440	13,440
	その他職員人件費	9,361	12,317	12,720
人件費計(B)		40,004	55,513	57,462
トータルコスト(A+B)		429,990	496,453	385,178

昨年度に比べ、公共施設等適正管理推進事業債など活用し、年度計画による道路長寿命化対策工事など実施した結果、66,463千円の増額となった。また、R7事業費については、事務分担の見直しにより、委託費等を道路管理に要する経費に移行した結果、111,275千円の減額となった。

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	道路等管理事業						
総合計画 重点施策	—	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	管理課

事業目的・概要
市民の財産である道路・河川等を適正に管理することにより、信頼ある行政運営を図る。 ・道路施設の長寿命化を図るため、橋梁定期点検(20橋)を行う。 ・安全な道路空間の確保のため、道路施設等(側溝・街路樹など)の維持管理を行う。 ・道路用地の草刈りなどを行い、適正な維持管理を行う。 ・道路空間の安全確保のため、道路照明及び防犯灯の維持管理を行う。

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
橋梁及び横断歩道定期点検	橋	34	20	—	—
防犯灯新規設置数	基	—	45	30	30

事業スケジュール(当初)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
橋梁定期点検													
		設計	起工・契約						施工				
側溝清掃業務													
		起工・契約						施工					
街路樹管理業務													
		設計	起工・契約						施工				竣工
防犯灯維持管理業務													
		起工・契約						施工					
進捗状況	・橋梁長寿命化計画業務委託（令和7年3月完了） ・橋梁定期点検業務委託（令和7年3月完了） ・街路樹剪定などの維持管理 6単市第2-1号主要道路等街路樹管理業務委託 ほか7本（令和7年2月完了） ・道路用地(草刈)の維持管理 6単市第1-1号 道路除草業務委託 ほか6本（令和6年12月完了） ・道路照明及び防犯灯の維持管理										進捗度	A （予定どおり進んでいる）	

今後の方向性
継続 引き続き、適切で計画的な維持管理を行う。

事業費(単位:千円)	R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由
事業費				橋梁長寿命化の修繕年度計画などにより昨年度に比べ、約800万円ほど減額となった。また、R7事業費については、事務分担の見直しにより、委託費等を道路維持補修に要する経費より移行した結果、205,292千円の増額となった。
国庫支出金	18,160	23,212	0	
県支出金	0	0	0	
地方債	0	9,800	0	
その他	2,480	1,865	25,028	
一般財源	51,474	25,477	228,778	
事業費計(A)	72,114	60,355	253,806	
人件費				
正規職員数	7	7	7	
業務時間	12,672	13,440	13,440	
その他職員人件費	16,166	16,905	27,200	
人件費計(B)	56,298	60,101	71,942	
トータルコスト(A+B)	128,412	120,456	325,748	

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	地籍調査事業						
総合計画 重点施策	-	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	管理課

事業目的・概要
地籍調査を行うことにより、土地の正しい位置、境界、地番、地目、面積の明確化を図ることで境界紛争の減少や、災害復旧への寄与を図ることができる。 ・白山Ⅲ地区の地籍成果の認証請求・法務局送付を実施する。(面積:12ha) ・白山Ⅳ・本郷Ⅰ地区の地籍成果の閲覧を実施する。(面積:18ha) ・本郷Ⅱ地区の現地調査、地籍測量を実施する。(面積:13 ha)

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
地籍調査新規地区の面積	ha	18	13	14	17
地籍調査新規地区の総筆数	筆	854	843	590	950
地籍調査事業の進捗率 ※1	%	16.3	16.6	16.8	16.9

事業スケジュール(当初)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
白山Ⅲ地区					認証請求							認証・法務局送付	
白山Ⅳ・本郷Ⅰ地区		起工・契約	地籍図及び地籍簿の作成										
本郷Ⅱ地区		起工・契約	現地調査			地籍測量							
進捗状況	新規地区である本郷Ⅱ地区(本郷四・五丁目の各一部)は、市の中心市街地に隣接している地域で、筆数・地権者数ともに多い地区であったが、推進委員や関係権利者の理解と協力により予定通り実施することができた。 また、2年目の白山Ⅳ・本郷Ⅰ地区についても予定通り実施することができた。 3年目を迎えた白山Ⅲ地区については予定通り県への認証請求は行った。 ○本市の調査実施済面積 ha(令和6年度末現在) ※1 地籍調査事業の進捗率=調査実施面積/調査対象面積										進捗度	A (予定どおり進んでいる)	

今後の方向性
継続 地籍調査事業は息の長い事業であるが、事業の重要性や必要性は高く、着実に事業を進めて行かなければならない。

事業費(単位:千円)	R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由
事業費				令和6年度の新規地区である本郷Ⅱ地区は、令和5年度の新規地区であった白山Ⅳ本郷Ⅰ地区に対し面積が小さいため事業費が若干ではあるが減となった。
国庫支出金				
県支出金	16,323	14,205	12,375	
地方債				
その他				
一般財源	6,202	7,219	8,377	
事業費計(A)	22,525	21,424	20,752	
人件費				
正規職員数	4	4	4	
業務時間	7,680	7,680	7,680	
その他職員人件費				
人件費計(B)	24,515	24,684	25,567	
トータルコスト(A+B)	47,040	46,108	46,319	

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	市営住宅管理運営事業						
総合計画 重点施策	-	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	管理課

事業目的・概要
住宅に困窮する低額所得者に対して、低廉な家賃の公営住宅を供給することにより、市民生活の安定と社会福祉の増進を図る。 ・民間アパートの借上や補助制度、セーフティーネット住宅制度等を活用することによる、新しい制度の導入の検討を進める。 ・旧市営住宅用地を測量し売却に向け管財課へ移管する。 ・毎月、未納者に対して納付指導等を行い、収納率を向上させる。 ・市営住宅を入居可能な状態へ整備ができ次第随時募集し、住宅困窮者に対し住宅を提供していく。

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
家賃収納率(現年度)	%	98.4	98.0	97.0	97.0
入居用修繕戸数	戸	0	0	2	2

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新しい制度の導入検討												
旧市営住宅用地移管手続き	起工	契約										
毎月の未納者納付指導												
市営住宅入居募集												
進捗状況	毎月の督促状の発送、電話、戸別訪問により、未納者に対してきめ細やかな納付指導を行ったことにより、目標値を上回る結果となった。また、旧市営住宅用地に関し、移管手続きが完了し、普通財産として引き渡しを行った。引き続き、新しい制度の導入や入居募集については継続的に調査や修繕を行っていく。									進捗度	A (予定どおり進んでいる)	

今後の方向性	
継続	継続して適切で計画的な維持管理を行うとともに、今後の市営住宅のあり方について、いろいろな事例等を調査研究しながら進めていく。また、未収債権についても継続的に調査を行い、債権管理条例に基づき適切な対応を行っていく。

事業費(単位:千円)		R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				旧住宅用地の借地部分の返還に向けた造成工事を行ったことにより18,000千円増額となった。
	県支出金				
	地方債	9,000			
	その他	21,429	19,929	18,902	
	一般財源	4,297	32,359	18,039	
事業費計(A)		34,726	52,288	36,941	
人件費	正規職員数	2	2	3	
	業務時間	3,840	3,840	5,760	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		12,161	12,342	19,175	
トータルコスト(A+B)		46,887	64,630	56,116	

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	道路改良・整備事業【ふれあい道路(市道0106号線)】						
総合計画 重点施策	快適な生活を支える都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	道路建設課

事業目的・概要
本路線は広域的な幹線道路であり、地域防災計画の中でも第2次緊急輸送道路として位置付けられているが、近年戸頭地区の約1.4kmにおいて路線全体でクラックやわだち等が発生し舗装が著しく破損してきており、部分補修では対応しきれないことから、令和6年度から工事を実施している。 円滑な通行を確保するため、道路表面のアスファルト下の層(路盤)から改良を行い、アスファルト舗装を2層～3層にするなど抜本的な整備を実施し、快適で安全に通行できる道路整備を進める。

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
年度事業進捗度	%	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
道路維持工事(1工区)		←設計(起工準備)	←	←起工	←入札・契約	←	←	←	←施工	←	←	←
道路維持工事(2工区)		←設計(起工準備)	←	←起工	←入札・契約	←	←	←	←施工	←	←	←
進捗状況	7月指名委員会に上程し、一般競争入札にて8月下旬に請負業者が決定している。施工方法の検討や警察との道路使用協議を行い、10月から施工が開始され、3月に工事が完了している。									進捗度	A (予定どおり進んでいる)	

今後の方向性	
継続	令和5年度に測量及び詳細設計を行い、工事発注に必要な図面等の作成を実施した。年次計画により、令和6年度から工事を実施し、3力年かけ令和8年度事業完了予定である。

事業費(単位:千円)		R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金	4,611	18,187	26,577	年度整備計画により、事業費が増となった。
	県支出金				
	地方債	17,100	143,400	201,000	
	その他				
	一般財源	982	11,960	22,423	
事業費計(A)		22,693	173,547	250,000	
人件費	正規職員数	2	2	2	
	業務時間	500	500	500	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		1,596	1,607	1,665	
トータルコスト(A+B)		24,289	175,154	251,665	

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	道路改良・整備事業【井野台一丁目(市道4113号線他)】						
総合計画 重点施策	快適な生活を支える都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	道路建設課

事業目的・概要
本路線は井野台地区から国道6号へ出るための主要道路となっており、交通量が非常に多い路線となっているが、通学する生徒・児童と車両が急接近し非常に危険な状況であるため、令和5年度から区間毎に工事を実施している。側溝の入れ替えや道路表面のアスファルトの下の層(路盤)から改良を行い、路側帯のカラー化や路面標示により、ドライバーに視覚的に認識してもらえるよう抜本的な整備を実施し、快適で安全に通行できる通学路整備を進める。

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
年度事業進捗度	%	100	100		

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
道路改良工事												
電柱移設												
進捗状況	6月指名委員会に上程し、一般競争入札にて7月中旬に請負業者が決定している。施工方法の検討や警察との道路使用協議を行い、9月から施工が開始され、3月に工事が完了している。									進捗度	A (予定どおり進んでいる)	

今後の方向性	
事業完了	令和4年度に測量及び詳細設計を行い、工事発注に必要な図面等の作成を実施した。年次計画により、令和5年度から令和6年度の2カ年で工事を実施し、事業が完了した。

事業費(単位:千円)		R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金	10,984	61,986		年度整備計画により、事業費が増となった。
	県支出金				
	地方債	8,500	46,300		
	その他				
	一般財源	486	4,418		
事業費計(A)		19,970	112,704		
人件費	正規職員数	2	2		
	業務時間	500	500		
	その他職員人件費				
人件費計(B)		1,596	1,607		
トータルコスト(A+B)		21,566	114,311		

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	道路改良・整備事業【3・5・23号北敷・沼附線に要する経費】						
総合計画 重点施策	快適な生活を支える都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	道路建設課

事業目的・概要
本路線は茨城県事業である北浦川緑地整備と一体的に整備を進めている路線であり、近隣からのアクセス利用が見込まれている路線となっている。 令和元年4月には北浦川緑地内に人工芝サッカーグラウンドが供用開始され、本路線の整備が完了できれば、より一層の利便性の向上が図られること、また藤代南中学校の通学路としても安全が確保されることから早急に整備を進める。

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
年度事業進捗度	%	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
補償額算定調査業務委託					契約・成果品納品								
土地評価時点修正					契約・成果品納品								
用地買収		用地交渉											
道路改良工事に伴う軟弱地盤解析		内容検討											
進捗状況	用地買収に伴う補償物件の補償額算定調査業務委託及び土地の買収価格の時点修正を実施した。並行して、用地買収の交渉を進めており、年度末に合意となり、令和7年4月に契約となった。										進捗度	A (予定どおり進んでいる)	

今後の方向性	
継続	都市計画道路として、整備を進めており、用地買収箇所は残り1箇所となった。今後は、沈下を防止するための地盤改良工事及び道路改良工事に着手する。また、未買収の用地については、買収交渉を継続する。

事業費(単位:千円)		R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金	10,506		143,028	年度整備計画により、事業費が減となった。
	県支出金				
	地方債	8,100		105,200	
	その他				
	一般財源	550	1,210	11,830	
事業費計(A)		19,156	1,210	260,058	
人件費	正規職員数	2	2	2	
	業務時間	500	500	500	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		1,596	1,607	1,665	
トータルコスト(A+B)		20,752	2,817	261,723	

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	道路改良・整備事業【井野団地外周道路(市道0115号線他)】						
総合計画 重点施策	快適な生活を支える都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	道路建設課

事業目的・概要
本路線は路線バスの運行経路となっているが、既存の道路は大型バスの頻繁な走行に耐えうる構造になっていないことから、舗装が著しく破損してきており、令和3年度から工事を実施している。 円滑な通行を確保するため、道路表面のアスファルト下の層(路盤)から改良を行い、抜本的な整備を実施し、快適で安全に通行できる道路整備を進める。

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
年度事業進捗度	%	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
道路改良工事												
進捗状況	6月指名委員会に上程し、一般競争入札にて7月中旬に請負業者が決定している。施工方法の検討や警察との道路使用協議を行い、9月から施工が開始され、3月に工事が完了している。									進捗度	A (予定どおり進んでいる)	

今後の方向性
継続 平成30年度に事業を開始し、令和元年度に詳細設計を実施、工事発注に必要な図面等の作成を実施した。年次計画により、令和3年度から工事を実施し、7カ年かけ令和9年度事業完了予定である。

事業費(単位:千円)	R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金			年度整備計画により、事業費が増となった。
	県支出金			
	地方債	85,600	125,300	
	その他			
	一般財源	4,620	11,399	
事業費計(A)		90,220	136,699	
人件費	正規職員数	2	2	
	業務時間	500	500	
	その他職員人件費			
人件費計(B)		1,596	1,607	
トータルコスト(A+B)		91,816	138,306	

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	雨水排水対策事業(下高井水砂雨水排水整備事業の推進)						
総合計画 重点施策	快適な生活を支える都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	排水対策課

事業目的・概要
【事業目的】 下高井地区において、近年多発している局地的大雨により降雨量が増大したこと、冠水箇所周辺の宅地化により雨水排水量が増加したことによる浸水被害が慢性化している。暫定的な対策として、現況の未改修の下高井雨水幹線を流末として排水ルートを検討・整備を行うものとする。 【事業概要】 管路施設実施設計、管路施設測量地質調査

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
年度事業進捗度	%	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
関係機関協議												
実施設計				契約				委託期間				検査
進捗状況	令和6年度は管路施設(推進工事)の実施設計委託を進めた。当該管路施設実施設計に伴う管路施設測量地質調査において、用地境界立会等の基礎データの整理に時間を要した事から、管路施設実施設計、管路施設測量地質調査ともに年度繰越を行った。両委託の完了については令和7年度中を予定している。									進捗度	B (概ね予定どおり進んでいる)	

今後の方向性
継続 令和7年度は開削工事に係る実施設計および測量地質調査の実施を予定している。令和8年度以降は推進工事、開削工事を実施予定である。

事業費(単位:千円)	R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金			令和6年度は基本設計に引き続き、詳細設計を実施しているが、令和7年度へ事業費を繰越している事から、事業費が減となっている。
	県支出金			
	地方債	6,500	57,893	
	その他			
	一般財源	13,750	0	
事業費計(A)		13,750	6,500	
人件費	正規職員数	3	4	
	業務時間	1,200	1,200	
	その他職員人件費			
人件費計(B)		3,830	3,857	
トータルコスト(A+B)		17,580	10,357	

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	樋管維持管理事業(添排水機場自家発電機等改修)						
総合計画 重点施策	安全安心な生活が送れるまちづくり	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	排水対策課

事業目的・概要
【事業目的】 排水機場の発電機等の機器を更新し、河川増水時の内水排除を確実に行之、市民の財産・生命を守ることに寄与する。 【事業概要】 添排水機場のNo.2自家発電機他改修工事

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
年度事業進捗度	%		100	100	100

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
工事			←	→								→
			契約				工事期間					検査
進捗状況	令和6年度については、添排水機場におけるNo.2自家発電機他改修工事を令和6年6月に契約締結し、令和7年3月に完成した。									進捗度	A (予定どおり進んでいる)	

今後の方向性
継続 引き続き、樋管の維持管理を実施していく。

事業費(単位:千円)	R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由
事業費				年度計画による。
国庫支出金				
県支出金				
地方債		79,600	88,700	
その他				
一般財源		95	92	
事業費計(A)	0	79,695	88,792	
人件費				
正規職員数		3	2	
業務時間		1,200	1,200	
その他職員人件費				
人件費計(B)	0	3,857	3,995	
トータルコスト(A+B)	0	83,552	92,787	

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	雨水排水対策事業(藤代地区雨水排水整備事業)						
総合計画 重点施策	快適な生活を支える都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	排水対策課

事業目的・概要
【事業目的】 藤代地区(小林住宅)道路冠水被害の緩和のため、雨水排水施設を整備し、住環境の向上に寄与する。 【事業概要】 家屋調査委託 雨水排水整備工事

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
年度事業進捗度	%	100	100	100	100

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
工事説明会		説明会開催										
家屋事前調査			契約	調査	検査							
工事				契約			工事期間			検査		
進捗状況	令和6年度については、工事に伴う家屋調査業務委託を令和6年6月に契約締結し、令和6年8月に完成した。雨水排水整備工事は令和6年6月に契約を締結し、令和6年11月に完成した。									進捗度	A (予定どおり進んでいる)	

今後の方向性
継続 令和7年度から令和9年度で引き続き雨水排水整備工事を実施し、令和10年度については、令和9年度施工範囲の家屋事後調査及び家屋補償を実施し、事業完了予定である。

事業費(単位:千円)	R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由
事業費				年度計画による。 当初は令和6年度から令和14年度までの9年間で、年間45mずつ整備していく予定であったが、事業計画を圧縮し、令和7年度及び令和8年度で残りの延長を施工予定としたことで、令和6年と比較して令和7年度の事業費が大幅に増額している。
国庫支出金				
県支出金				
地方債	3,000	9,200	82,100	
その他				
一般財源	1,048	843	2,299	
事業費計(A)	4,048	10,043	84,399	
人件費				
正規職員数	3	3	2	
業務時間	1,200	1,200	1,200	
その他職員人件費				
人件費計(B)	3,830	3,857	3,995	
トータルコスト(A+B)	7,878	13,900	88,394	

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	雨水排水対策事業(排水路維持管理事業の推進)						
総合計画 重点施策	安全安心な生活が送れるまちづくり	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	排水対策課

事業目的・概要
【事業目的】 排水施設の維持管理、修繕を実施し、雨水排水対策の充実により浸水及び冠水被害の緩和を目指し、快適で安心なまちづくりの推進を図る。 【事業概要】 雨水幹線や既設水路の除草・汚泥浚渫・雑木伐採、雨水調整池の汚泥浚渫、排水ポンプ施設の機械類の点検整備及び修繕を行う。

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
ポンプ施設点検件数	件	36	36	36	36

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
施設点検	←-----点検・修繕-----→											
維持管理	←-----除草・雑木伐採-----→											
清掃	←-----清 掃-----→											
進捗状況	雨水幹線(39路線)やポンプ施設(36施設64台)・調整池22箇所が機能するように点検・清掃などを随時実施。 また、専門業者にポンプ施設の保守点検業務を委託し、不具合箇所について随時修繕を行った。									進捗度	A (予定どおり進んでいる)	

今後の方向性
継続 道路冠水や浸水被害から市民を守るため、適正な維持管理を行う。

事業費(単位:千円)		R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				令和5年度と比較すると、電気料金が落ち着いたことや、修繕箇所が少なかったこと等から事業費が減少した。
	県支出金				
	地方債				
	その他	1,000	919	1,048	
	一般財源	64,757	59,482	71,369	
事業費計(A)		65,757	60,401	72,417	
人件費	正規職員数	7	7	7	
	業務時間	2,573	2,976	2,784	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		8,213	9,565	9,268	
トータルコスト(A+B)		73,970	69,966	81,685	

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	市民と協働による公園維持管理事業(都市公園施設長寿命化対策事業)						
総合計画 重点施策	市民と協働でつくる地域社会	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	水とみどりの課

事業目的・概要
【事業目的】 市が管理する老朽化が進む公園施設に対して安全対策の強化、ライフサイクルコスト縮減並びに補修・更新費用の平準化を図る観点から、適切な施設点検、維持補修等の予防保全型管理のもとで、既存ストックの長寿命化対策および計画的な補修・更新等を行うことを目的として平成28年度に策定した「取手市都市公園施設長寿命化計画」に基づき、都市公園の施設を補修及び更新していく。 【概要】 老朽化した施設・遊具等、公園の再整備を行っていくにあたり、地元自治会などと協議を行い、地元ニーズを反映した公園の計画・再整備を行う。また、維持管理協定等について合意形成を図り、利用者が望む公園を提供する。

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
都市公園長寿命化対策事業を実施する公園数 及び施設数	公園	13	17	10	10
	施設	27	40	68	68

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
茨城県協議												
工事												
進捗状況	【完了: 令和7年3月】 ・公園施設長寿命化(更新)工事 台宿桜ヶ丘他16公園 (ブランコ7箇所・滑り台8箇所・シーソー1箇所・スイング遊具10箇所・ジャングルジム1箇所・鉄棒4箇所・雲梯1箇所・管理施設8箇所)									進捗度	A (予定どおり進んでいる)	

今後の方向性
継続 取手市都市公園施設長寿命化計画に基づき、最新の点検結果を反映して、公園施設の補修及び更新を計画的かつ効果的に実施する。 今後も継続していくことで、市民とともに協働して公園を作り上げ、幅広い年代の方々に親しみを感じてもらえる公園を提供する。

事業費(単位:千円)	R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金	27,000	27,100	29,700
	県支出金			
	地方債	24,300	24,300	26,700
	その他	3,051	2,907	3,000
	一般財源		616	
事業費計(A)		54,351	54,923	59,400
人件費	正規職員数	3	3	3
	業務時間	3,000	3,000	3,000
	その他職員人件費	0	0	0
人件費計(B)		9,576	9,642	9,987
トータルコスト(A+B)		63,927	64,565	69,387

更新する施設の単価増等の影響や、更新施設整備数が増加により増額となった。

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	公園維持管理事業(遊具及び樹木の点検)						
総合計画 重点施策	快適な生活を支える都市機能の充実	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	水とみどりの課

事業目的・概要
【事業目的】 遊具の破損や枯木の倒木による事故を防止するため。 【概要】 遊具及び樹木(公園施設)の点検を実施する。

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
遊具の点検箇所数 (3回／箇所)	箇所	155	154	155	155
施設及び樹木の点検実施箇所数 (2回／箇所)	箇所	221	219	221	221

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
専門技術者点検												
施設管理者点検												
進捗状況	・専門技術者による定期点検(遊具) 令和6年6月～令和6年10月 1回完了 ・管理者による安全点検(遊具、施設及び樹木) 令和6年6月・令和6年12月 2回完了									進捗度	A (予定どおり進んでいる)	

今後の方向性
継続 公園の安全安心な利用を実現するため、今後も継続して定期的な施設点検を実施していく。

事業費(単位:千円)	R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由
事業費				公園遊具定期点検業務委託の契約金額により、令和6年度は増額となった。
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他				
一般財源	2,277	3,113	4,807	
事業費計(A)	2,277	3,113	4,807	
人件費				
正規職員数	7	7	6	
業務時間	560	560	560	
その他職員人件費	360	360	420	
人件費計(B)	2,148	2,160	2,284	
トータルコスト(A+B)	4,425	5,273	7,091	

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	緑化推進事業						
総合計画 重点施策	-	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	水とみどりの課

事業目的・概要
【事業目的】 市民の緑化意識の向上と市域の緑化推進を図る。 【概要】 取手市緑化推進委員会と連携して、緑の募金による学校緑化、取手ガーデンロード花いっぱい事業等の緑化推進事業を展開する。また、市内の緑育活動の活性化を図るために、緑化ボランティア団体の活動を支援するとともに連携事業を実施する。

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
緑の募金事業の実施数	回	4	4	4	4
取手ガーデンロード花いっぱい事業の実施数	回	2	2	2	2
緑化ボランティア団体との連携事業	団体	10	10	10	10

事業スケジュール(当初)		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
緑の募金事業		学校募金・街頭募金・企業募金・職場募金											
		各学校へ募金交付 学校緑化事業											
取手ガーデンロード花いっぱい事業		ポピー刈取・種まき コスモス刈取・種まき											
緑化ボランティア団体との連携事業(10団体)		年間を通じてボランティア団体と連携し、花の種や資材の提供を行う											
進捗状況	[緑の募金事業] 街頭募金・学校募金・企業募金・職場募金の4事業を実施することができた。集まった募金の交付金で学校緑化事業を実施した。 [取手ガーデンロード花いっぱい事業] 令和6年6月 コスモス種まき 令和6年11月 ポピー種まき 計2回を実施し、ボランティアのかたの協力のもと、取手緑地運動公園内にあるガーデンロードにきれいな花を咲かせ、河川景観の向上を図ることができた。 [緑化ボランティア団体との連携] 市内緑化推進団体 計10団体との連携事業を実施した。										進捗度	A (予定どおり進んでいる)	

今後の方向性	
継続	市民の緑化意識向上と市内の緑化推進を図り、緑豊かな生活環境を形成するため、緑化の施策を継続して積極的に行っていく。 また、ボランティア団体とは継続して連携していけるよう、各団体へ働きかけを行う。

事業費(単位:千円)		R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由
事業費	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他	1,000	1,000	1,000	
	一般財源				
事業費計(A)		1,000	1,000	1,000	
人件費	正規職員数	2	2	3	
	業務時間	1,860	1,860	1,860	
	その他職員人件費				
人件費計(B)		5,937	5,978	6,192	
トータルコスト(A+B)		6,937	6,978	7,192	

令和6年度分 重点事業マネジメントシート

重点事業名	小堀の渡し運航事業						
総合計画 重点施策	-	組織目標	○	担当部	建設部	担当課	水とみどりの課

事業目的・概要
【事業目的】 利根川を挟んだ兩岸を一体的自然空間として活用し、観光船としての利用促進を図る。 【概要】 観光船としての「小堀の渡し」を市内外へ情報発信するため、取手緑地運動公園で行われる各種イベントと連携した取り組みや、小堀の渡しの歴史的な由来や古利根沼の河岸跡周辺を案内する「小堀の渡しミニツアー」を実施し、多くの方に観光船として取手の魅力を周知する。

成果指標	単位	R5 (実績)	R6 (実績)	R7 (目標)	R8 (目標)
連携事業数	事業数	2	2	2	2
小堀の渡しミニツアー	実施回数	12	11	15	15

事業スケジュール(当初)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
体験乗船												
小堀の渡しミニツアー												
進捗状況	・令和6年4月29日の第45回こども天国、令和6年11月3日の第41回とりで産業まつりにおいて、無料体験乗船を実施し運航事業をPRすることができた。 ・「小堀の渡しミニツアー」は、年間11回で45人が参加され運航事業をPRすることができた。									進捗度	A (予定どおり進んでいる)	

今後の方向性
継続 小堀の渡しの情報発信をするため、取手緑地運動公園で行われる各種イベントでの連携事業及び小堀の渡しの歴史的な由来や古利根沼の河岸跡周辺を案内する「小堀の渡しミニツアー」を継続して実施する。

事業費(単位:千円)	R5(実績)	R6(実績)	R7(見込)	事業費増減理由
事業費				令和6年度は、突発的な修繕等が無かったことにより減額となった。
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他	10,634	10,589	10,384	
一般財源	6,142	4,322	9,309	
事業費計(A)	16,776	14,911	19,693	
人件費				
正規職員数	2	2	3	
業務時間	2,200	2,200	2,200	
その他職員人件費	-	-	-	
人件費計(B)	7,022	7,071	7,324	
トータルコスト(A+B)	23,798	21,982	27,017	